

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 最終処分場整備事業
-------------------	------------------------

区分	番号	名 称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる
施策	2	循環型社会の構築
小分類	3	一般廃棄物の適正処理
主要な施策	1	ごみ処理施設の適正な維持管理の推進
事務事業番号	016	事務事業コード 21231016 事業開始年度 平成 2 2 年度 事業終了年度 平成 2 2 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	最終処分場整備事業
------	------	------------	-----------

部 名	市民生活部	グループ名	環境対策室環境対策 G
-----	-------	-------	-------------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> 廃棄物管理型最終処分場の飛散防護柵の木製支柱が老朽化し、強度の不足している箇所があり倒壊の危険があるため支柱を交換する。
手段 （事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> 飛散防護柵設置・撤去工事 既設木製柱取替 L=5.1m 末口14cm N=66本
成果	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> 施設の適正な運営が可能となる。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p> 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	事業達成率	%	目標値	100				
			実績値	100				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	1,806					0
合 計			1,806	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	398	0			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		398	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 一般廃棄物の処理は市町村責任で行うことから施設の改修計画についても市が行う。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 当初予定とおり事業を完了した。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 事業完了のため。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 工事に係る経費は必要最小限のもので構成されている。

担当グループによる評価

終 了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	老朽した支柱を更新することにより飛散防護柵の健全性が保たれ当初の目的を達成できた。
------------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終 了	備考
------------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）